

KRC WEB REPORT

徒然想

2016年もどうぞよろしくお願いいたします。今年は、8月5日から8月21日までブラジルのリオデジャネイロで第31回夏季オリンピックが開催されます。しかし、世界を見渡せばスポーツではなく軍事力を誇示して競い合ったり、相変わらず悲惨なテロなどが繰り返されている現実があります。なにかと政治色も強くなりがちなオリンピックではありますが、国境や民族、そして宗教などの違いを越えて、世界は互いにリスペクトしていけるのだと思える大会を期待したいと思います。

TECHNICAL TOPICS 今月の技術情報

FHWA (Federal Highway Administration) での計測技術デモンストレーション実施報告

昨年、2015年11月、アメリカのワシントン DC にある FHWA において、計測技術についてのデモンストレーションを実施してまいりました。FHWA は、米国連邦運輸省の機関の一つで、連邦道路管理局としてハイウェイの建設から管理までを行っています。

アメリカにおいても、社会インフラの維持管理のあり方は、大変重要な課題であり、今回実施したデモにも高い関心が寄せられました。

今回、SmartSensys 社(イリノイ州)を窓口、佐賀大学伊藤幸広教授、(株)K&T こんさるたんと、そして当社の4者合同チームによって、下記のデモンストレーションを行いました。(尚、本活動は、国交省建設技術開発費補助金によるものです。研究課題:「光学的計測法を用いた効率的・低コストな新しい橋梁点検手法の開発」、研究代表者:長崎大学 松田浩教授)

● 合同チームが行ったデモンストレーション



屋外実橋撤去桁



屋内載荷装置

--- 屋外 ---



1. 棒形スキャナ
棒形のスキャナによりコンクリート内部を撮影する技術
・[詳細はこちらの HP へ](#)



2. スリット応力解放法
スリット周辺の解放ひずみによるコンクリートの現有作用応力を解析する技術
・[詳細はこちらの HP へ](#)

--- 屋内 ---



3. カメラによるたわみ計測
カメラ画像により桁のたわみを計測する技術



4. 溶接部亀裂検知システム
ヒートパネルとカメラにより、溶接部の亀裂を検知する技術

屋外では実橋の撤去桁を用いて、「1. 棒形スキャナ」「2. スリット応力解放法」の技術デモを、屋内では載荷装置を用いて「3. カメラによるたわみ計測」「4. 溶接部亀裂検知システム」の技術デモを実施しました。見学者もたくさん集まり、ひとつひとつの技術について関心をもっていただけるデモンストレーションとなりました。

今後も、皆様の多様なニーズにお応えできるよう、新たな計測技術に取り組んでいきたいと考えています。

当社の HP でも詳しく紹介しておりますので、ぜひご覧ください。<http://www.krcnet.co.jp/topics/topics93.html>

(株)計測リサーチコンサルタント HP:<http://www.krcnet.co.jp> Mail:krc@krcnet.co.jp 問合せ:<http://www.krcnet.co.jp/contact/contact.htm>